

※ 今週のアウトルック (12/7~12/11)

先週は、ECBの追加緩和決定や米国雇用統計の発表などがあり、動きのある週となりました。今週は、今月中に米国の利上げがほぼ確実となり、その影響がどこまで織り込まれるのかが、まずは焦点となりそうです。

先週ドル円は、ECBの追加緩和の報道を受けて木曜日には122.5円付近まで下落しましたが、金曜日には米国雇用統計の好結果を受けて今月中の利上げがほぼ確実となり、123円を超えたまま、週末を迎えています。

今週は、利上げが確実視された影響がどこまで出るのかがまず注目されますが、意外にもそれほどドル高にはならず、円高に触れてしまうシナリオも想定しておく必要があるかもしれません。

ドル円の予想レンジは122円から124円です。

先週ユーロは、ECBの追加緩和発表に伴い、ユーロ高が一気に進みました。今週はリバウンド後の動きがどちらに向かうのかが、まず注目されそうですが、どちらへも動きづらい状況になってしまう可能性もあるように思います。

ユーロ円の予想レンジは133円から135円です。

ポンド円は、ECBの追加緩和や米国雇用統計の好結果が追い風となり、186円付近まで戻ってきています。

今週はどこまでこの追い風が吹き続けるかが注目されるころですが、本格的な上昇トレンド復活となるには、まだ力不足のような気がします。

ポンド円の予想レンジは184円から189円です。

今週は、今月中の米国利上げがほぼ確実となった中、利上げ後を見据えた動きがどのようなものになるのか、見極めていく必要があります。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。